令 和 元 年 度 事 業 報 告

令和元年度は、ＪＲ東日本の重点販売地域の指定、三陸防災復興プロジェクト2019、ラグビーワールドカップ 2019™釜石開催、ＫＯＵＧＥＩ ＥＸＰＯ ｉｎ ＩＷＡＴＥの開催など、多くの大型イベントを好機に『いわて幸せ大作戦！！』観光キャンペーンを展開し、国内外に広く情報発信するとともに、台風第 19 号の風評被害払拭に向けた情報発信などにも取り組んだところであるが、観光庁の宿泊旅行統計調査による令和元年の本県の延べ宿泊者数（速報値）は、前年を若干下回る結果となった。

一方、外国人観光客については、花巻空港における国際航空便が過去最大の運航本数となったほか、県、関係機関等のプロモーション活動の展開により、台湾を中心に、外国人延べ宿泊者数が過去最高となったところであるが、全国との比較では依然として低く、誘客活動の更なる強化が課題となっている。

こうした状況の中、当協会では、県や関係機関と連携した大都市圏での観光客誘致説明会の開催、沿岸地域を視察対象とする旅行会社の招請事業などを実施し、誘客に取り組んだほか、県事業「いわてふっこう割事業」を受託し、台風第 19 号の影響により落ち込んだ観光需要の回復及び喚起にも取り組んだところである。

また、教育旅行の誘致拡大を図るため、北海道（函館市・札幌市）、東京都及び大阪府において誘致説明会を開催するとともに、関係機関等への訪問活動を行った。

更に、国際観光の分野においては、台湾及び韓国において各種の情報発信やＰＲを実施したほか、外国人留学生によるモニターツアーや海外の旅行会社関係者との意見交換等の実施により外国人観光客の受入態勢整備を促進するなど、海外からの誘客拡大に取り組んだ。

その他の事業においても、県・市町村及び各観光協会や観光関係団体と連携し、本県の魅力ある観光資源の宣伝と観光客の拡大に取り組んだところであるが、世界的な広がりを見せる新型コロナウイルスの影響が日に日に深刻さを増し、極めて厳しい年度末を迎えることとなった。

Ⅰ　観光宣伝紹介

1　観光情報の発信

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」の管理運営を行い、各種祭りやイベント、桜等の季節の情報をはじめ、三陸鉄道リアス線の全線運行再開に合わせて特集ページ「三陸へ行こう！第２弾」を掲載する等、インターネットを通じた情報発信に努めた。

また、バナー広告を募集し掲載した。（４～６月　８社、７～９月　８社、10～12 月　５社、１～３月　３社、延べ 24 社掲載）

年　　度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
アクセス件数 （対前年度比）	2,331,869 件 （8.8%減）	2,235,477 件 （4.1%減）	2,886,628 件 （29.1%増）

(2) 観光情報システム分担金事業

（公社）日本観光振興協会の観光情報ポータルサイト「全国 観るなび」を活用した情報発信のため「全国観光情報データベース」の整備・運用に係る分担金を拠出し、本県観光地等の知名度向上と誘客拡大を図った。

(3) パブリシティ有効活用事業

東日本大震災津波等からの復興支援や、イベントと連動した誘客促進を目的として、タウン誌等の媒体を活用して本県の観光情報の発信に取り組んだ。

掲載年月	雑誌等広告媒体名	発行部数等	内　　容
R１．５	タウン情報誌７誌 （６月号） （アキュートほか）	25 万部（東北６県及び栃木県）	・「行こうぜ！三陸」 釜石自動車道･三陸自動車道の開通情報、三陸鉄道の運行、三陸防災復興プロジェクト 2019 開催等の紹介
R１.11	旅情報誌「遊人」 （11/20 発行・冬号）	３万部（九州）	・「三陸鉄道沿線を巡る　岩手県の旅」 三陸鉄道、いわて TSUNAMI メモリアル、うのすまい・トモス、三陸ジオパーク等の紹介
R２．３	東北「道の駅」公式マガジン「おでかけ・みちこ」（第 32 号）	10 万部（東北６県）	・「岩手ツーリング　目指すは、三陸美味飯」県内道の駅のグルメ、県内ツーリングコース等の紹介

(4) 観光宣伝媒体作成事業

本県全体の観光地を紹介する「岩手県観光案内図（いわて旅マップ）」を作成し、本県を訪れる観光客等に広く配布した。

・いわて旅マップ（作成部数　25 万部）

(5) 観光キャラクター活用事業

本県のＰＲキャラクター「わんこきょうだい」のを活用したグッズを各種観光キャンペーンなどで配布・販売し、本県の認知度向上と誘客拡大に取り組んだ。

・販売個数　わんこきょうだい缶バッチ　304 個
　　そばっちぬいぐるみ　119 個
　　そばっちぬいぐるみストラップ　1,377 個

Ⅱ　国内観光客の誘致促進

1　国内観光客の誘致促進

(1) 観光客誘致説明会

大都市圏から本県への観光客の誘客拡大を図るため、いわて観光キャンペーン推進協議会との共催で、東京都、名古屋市及び大阪市において、旅行商品造成・仕入担当者等を対象とした観光客誘致説明会を開催し、本県の魅力ある観光資源の紹介・宣伝を行ったほか、県内の観光・宿泊施設、行政及び観光関係団体等との商談を通じて旅行商品の造成を促し、本県観光地等の知名度向上を図った。

会　　場	実　施　日	参加状況
東京会場 中野サンプラザ	R１．９．11	旅行会社（16 社 37 名）、岩手県側（43 名） 専務理事参加
名古屋会場 名鉄ニューグランドホテル	R１.11.13	旅行会社（９社 15 名）、岩手県側（39 名） 専務理事参加
大阪会場 アートホテル大阪ベイタワー	R１.11.14	旅行会社（11 社 17 名）、岩手県側（40 名） 専務理事参加

全体説明会（東京会場）

個別商談会（大阪会場）

(2) エージェント招待事業

沿岸地域の旅行商品の造成及び販売促進、観光客の誘客拡大を図るため、県外旅行エージェントを招待し、沿岸地域の景勝地や観光・宿泊施設、東日本大震災津波からの復興状況等の視察のほか、観光事業者等との商談会・意見交換会を行った。

実施日	招　待　者	主な視察先等
R１.11.27 ～11.29	５名 ㈱阪急交通社	久慈市（久慈琥珀博物館、やませ土風館）、田野畑村（北山崎、机浜番屋群、ホテル羅賀荘、北山崎断崖クルーズ）、岩泉町（ホテル龍泉洞愛山、龍泉洞）、宮古市（渚亭たろう庵、グリーンピア三陸みやこ、学ぶ防災ガイド、浄土ヶ浜パークホテル、浄土ヶ浜、浄土ヶ浜レストハウス、みやこ浄土ヶ浜遊覧船、魚菜市場）、山田町（復興まち歩きつまみ食いツアー体験）、大槌町（三陸花ホテルはまぎく）、三陸鉄道乗車体験（釜石駅～盛駅）、大船渡市（キャッセン大船渡、穴通磯）、陸前高田市（東日本大震災津波伝承館、キャピタルホテル 1000）

学ぶ防災（宮古市田老地区）

穴通磯（大船渡市）

２　教育旅行の誘致促進

（1）教育旅行誘致促進事業

本県への教育旅行の誘致拡大を図るため、主要なターゲットである函館市、札幌市、東京都及び大阪府において教育旅行誘致説明会を実施したほか、学校、旅行会社等への訪問活動を通じ、各地域での教育旅行の実施状況等の情報収集及び本県教育旅行の受入態勢等の紹介宣伝を行った。

ア　岩手県教育旅行誘致説明会

開　催　地	実施日	参　加　状　況
函館会場 （フォーポイントバイシェラトン函館）	R１．８．７	函館市及び周辺の中学校の担当教諭（２校３名） 旅行会社の教育旅行担当者（６社 10 名） 岩手県側（54 名）　安藤部会長及び専務理事参加
札幌会場 （ホテルポールスター札幌）	R１．８．８	札幌市及び周辺の中学校の担当教諭（９校 11 名） 旅行会社の教育旅行担当者（７社 20 名） 岩手県側（53 名）　安藤部会長及び専務理事参加
東京会場 （ホテルメトロポリタンエドモント）	R１．８．21	首都圏の中学・高等学校の担当教諭（４校４名） 旅行会社等の教育旅行担当者（８社 26 名） 岩手県側（49 名）　安藤部会長及び専務理事参加

大阪会場 （アートホテル大阪ベイタワー）	R１.11.15	関西地方の中学・高等学校の担当教諭（４校４名） 旅行会社等の教育旅行担当者（６社 14 名） 岩手県側（35 名）　専務理事参加

部会長挨拶（札幌会場）

個別商談会（函館会場）

イ　訪問活動

①　北海道

実施日	訪　問　先	訪　問　者
R１．７.11	函館市教育委員会、函館市中学校長会、函館市内の旅行会社（５社）	４名（県観光課総括課長及び課員、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、同事務局）
R１．７．９ ～７.10	北海道教育庁、札幌市教育委員会、北海道中学校長会、札幌市中学校長会、札幌市内中学校（１校）、札幌市内の旅行会社（６社）	４名（県観光課総括課長及び課員、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、同事務局）

②　首都圏

実施日	訪　問　先	訪　問　者
R１．７.23 ～７.25	（公財）日本修学旅行協会、（公財）全国修学旅行研究協会、東京都内の中学校及び高等学校（３校）、旅行会社（７社）	６名（県東京事務所、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、同事務局、同首都圏支部３名）

③　愛知県

実施日	訪　問　先	訪　問　者
R１．９.25	（公財）全国修学旅行研究協会名古屋事務局、名古屋市内の旅行会社（２社）	１名（教育旅行誘致宣伝部会事務局）

④　大阪府

実施日	訪　問　先	訪　問　者
R１．９.26 ～　９.27	（公財）日本修学旅行協会大阪事務所、大阪府校外学習研究会、大阪市内の旅行会社（６社）	２名（県大阪事務所、教育旅行誘致宣伝部会事務局）

Ⅲ　国際観光の推進

１　外国人観光客への対応

(1) 外国人観光客誘致宣伝事業

本県への外国人観光客の誘客拡大を図るため、台湾で開催された観光ＰＲイベント「日本東北遊楽日 2019」に参加し、本県の観光宣伝等を行った。

また、中国と本県の交流拡大を目的とする岩手県訪問団(団長:岩手県知事)に参加し、大連市で開催された「アカシア祭り」の開幕式（５/25）及び「2019 中日文化観光大連交流大会」（５/26）に参加した。理事長及び専務理事参加。

ア　台湾観光ＰＲイベント

主　催	会期・会場	来場者数等	参加概要（岩手県）
日本政府観光局日本東北六県感謝祭実行委員会	R１.11.16～11.17（２日間）世界貿易センタービル	132,715 人	参加：岩手県、㈱小松製菓、さんさ好み他 ・ブースでの観光相談対応（11/16～17） ・郷土芸能（さんさ踊り）披露（11/16～17）

ブースでの観光相談対応

郷土芸能（さんさ踊り）披露

２　外国人観光客受入態勢整備事業

(1) 国際航空便歓迎行事等

本県への外国人観光客の誘客拡大を図るため、いわて花巻空港の国際航空便（台北、上海、香港）を利用して来県する外国人観光客に対して「花巻空港国際航空便歓迎実行委員会」が、横断幕や幟旗の掲出、観光パンフレットや記念品等の配布などの歓迎対応を行った。

また、台北及び上海の国際定期便の１周年記念に合わせ、歓迎セレモニーを行った。

合　　計	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数
	84 回	9,802 人	131 回	14,074 人	187 回	17,874 人
春季（４～６月）	４回	699 人	35 回	4,080 人	56 回	5,228 人
夏季（７～９月）	８回	1,017 人	26 回	2,943 人	50 回	4,742 人
秋季（10～12 月）	33 回	3,479 人	26 回	2,596 人	52 回	4,892 人
冬季（１～３月）	39 回	4,607 人	44 回	4,455 人	29 回	3,012 人

(2) 外国人観光案内所運営（いわて・盛岡広域観光センター）

盛岡駅２階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」内に設置されている「Ｖ案内所」の運営に対し経費の一部を負担した。

(3) 外国人観光客受入態勢整備事業

（株）岩手銀行及び（公財）さんりく基金と連携して、外国人観光客の受入態勢の向上と、一層の誘客につなげるため、外国人留学生を対象としたモニターツアーを実施し、観光関係者の取組のブラッシュアップを図るとともに、観光関係者との交流促進を図った。

また、本県を訪問した中国蘇州の旅行会社関係者と県内観光関係者との観光商談会を開催した。

ア　外国人留学生モニターツアー

実施日	招　請　者	主な視察先
R1.11.9 ～11.10	岩手大学・岩手県立大学の外国人留学生７名	大船渡魚さばき体験、碁石海岸・穴通磯船、高田松原津波復興祈念公園・いわてＴＳＵＮＡＭＩメモリアル、キャピタルホテル1000、住田町歩き、こんにゃく作り体験

イ　観光商談会

実施日	会　場	参加者
R1.9.6	湯守ホテル大観（盛岡市）	中国蘇州側旅行関係者８名、岩手県観光関係者７団体11名

外国人留学生モニターツアー

中国蘇州旅行会社関係者との観光商談会

３　北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営（県受託事業）

北東北三県及び北海道が共同で設置している「北東北三県・北海道ソウル事務所」の管理運営を行った。また、韓国からの観光客の誘客促進等のため、韓国で開催される観光商談会に参加し、韓国旅行会社等に観光資源の紹介宣伝を行った。更に、本県で行われた韓国スタッフによるＳＮＳで発信する観光素材の取材に同行し、本県観光地等の韓国でのＳＮＳによる情報発信の強化に取り組んだ。

ア　観光商談会

実施日	会　場	参加者
R1.11.19	ソウルロッテホテル（ソウル市）	韓国側旅行関係者等 87 団体 149 名、岩手県観光関係者５団体 10 名（日本側観光関係者 25 団体 46 名）

イ　ＳＮＳ強化情報発信事業の現地取材

実施日	参加者	主な取材先
R1．7．5～7．7	韓国カメラマン１名、ソウル事務所職員１名	宮沢賢治童話村・賢治の学校、佐々長醸造、大沢温泉、花巻市内喫茶店、ぴょんぴょん舎、つなぎ温泉、八幡平
R1．8．3～8．7	韓国カメラマン１名、ソウル事務所職員１名	盛岡さんさ踊り、北上市内喫茶店、瀬美温泉、夏油温泉、盛岡七夕祭り、盛岡八幡宮、盛岡市内喫茶店、八幡平、鉛温泉、山王山温泉、館ケ森アーク牧場、大籠キリシタン殉教公園

４　旅天下視察研修手配業務（県受託事業）

台北花巻便で旅行商品を造成している台湾の旅行会社の「旅天下」が、冬の旅行商品での実施を検討しているわんこそば（ベジタリアン対応を含む）について、事前視察研修の手配を行った。

・令和元年 12 月 14 日　台湾旅行会社等９名

５　韓国旅行会社及びメディア等招請事業（県受託事業）

韓国からのスキー商品を開発するため、旅行会社等の招請事業を行い、県内スキー場及び宿泊施設の視察をし、商品造成及び情報発信を図った。

実施日	招　請　者	主な視察先
R2．2.15～2.18	旅行会社１名、メディア４名	瀬美温泉、夏油高原スキー場、雫石プリンスホテル、雫石スキー場、岩手高原スノーパーク

Ⅳ　受入態勢の整備

１　来県する観光客への対応

(1)「いわて観光おもてなしセンター」管理運営

本県の観光情報を総合的に提供するため、協会内に「いわて観光おもてなしセンター」を設置し、来訪、電話、手紙及びメール等での本県観光に係る意見、要望、相談及び資料請求等に対応した。

ア　苦情等への対応状況

区分	件数	主　な　内　容
意　見	５件	① いわて旅マップの地図上の記載について ② ホヤ等特産品の積極的なＰＲについて ③ 温浴施設での男性のプライバシーの配慮について ④ いわて雪まつりの分散開催について ⑤ 宿泊施設の新型コロナウイルス対応について
要　望	２件	① 三陸鉄道とＪＲとの乗換駅のバリアフリー化について ② わんこきょうだいのラインスタンプ化について
苦　情	４件	① 果物収穫体験施設の問合せ対応について ② 宿泊施設のペットの飼育状況について ③「さっぽろオータムフェスト 2019」での岩手県ブースの対応時間について ④ いわてふっこう割事業の制度及び広報について
その他	２件	① ＨＰ「いわての旅」イベントカレンダーへの掲載について ② いわてふっこう割事業の対象宿泊施設での対応について（提言）
計	13 件	

イ　観光情報等の問合せへの対応

区　分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
観光相談	1,500 件	1,549 件	1,859 件
資料送付	895 件	1,050 件	1,251 件
合　　計	2,395 件	2,599 件	3,110 件

(2) 観光情報提供事業（協会「Ｖ」案内所運営等）

外国人観光客に対して情報を提供する「Ｖ」案内所を協会内に設置し相談等に応じたほか、国内外からの観光客に対し各種情報を提供した。

ア　観光情報等の問合せへの対応状況（再掲）

区　分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
観光相談	1,500 件	1,549 件	1,859 件
資料送付	895 件	1,050 件	1,251 件
合　　計	2,395 件	2,599 件	3,110 件

イ　うち、外国人観光客からの問合せへの対応状況

区　分	令和元年度
問合せ別件数	窓口：２件　電話：１件　FAX：０件　電子メール：７件
内容別件数 （重複あり）	イベント・個人旅行・観光一般：　１件　印刷物：３件　交通：　５件 宿泊：　０件　食事：　０件　娯楽：　０件　生活、その他一般：２件

＊Ｖ案内所：日本政府観光局が認定した外国人観光客案内所（ビジットジャパン案内所）。

(3) いわて・盛岡広域観光センター運営

本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、本県の観光情報の提供や相談対応等を行う盛岡駅２階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」の運営経費の一部を負担した。

区　分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
来　訪　件　数	28,212 件	27,035 件	25,964 件
電 話 ・ 書 面	606 件	708 件	880 件
宿　泊　案　内	1,187 件	1,421 件	1,183 件

２　観光人材の育成

(1) ボランティアガイド育成事業

県内各地で活動する観光ボランティアガイドのガイド技術の向上とガイド団体相互のネットワーク化を目的に設立した「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」（事務局：（一社）奥州市観光物産協会、加入団体 36（ガイド団体 24、支援団体 12））の活動を支援した。

(2) 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、「観光の日」事業の一環として、各団体から他の模範とするに足りると認められ推薦された者を優良従事者として表彰した。

※岩手県主催の「令和元年度岩手県商工観光業表彰（知事表彰）」と合同で実施。知事、理事長及び専務理事出席

・期日　令和元年５月 16 日（木）

・会場　ホテルメトロポリタン盛岡ＮＥＷ　ＷＩＮＧ

・被表彰者　10 名（下記のとおり）

≪宿泊・観光施設関係≫４名

推薦団体名	所属団体名	氏　名
（公財）盛岡観光コンベンション協会	ホテルロイヤル盛岡	藤　澤　総　子
（一社）花巻観光協会	花巻温泉株式会社	伊　藤　政　樹
	志戸平温泉株式会社	大　石　はや子
（一社）釜石観光物産協会	宗教法人石応禅寺	六　岡　双美雄

≪交通機関関係≫１名

推薦団体名	所属団体名	氏　名
（一社）一関市観光協会	東磐交通株式会社	千　葉　　進

≪その他（観光協会、観光関連施設関係）≫５名

推薦団体名	所属団体名	氏　名
（一社）花巻観光協会	株式会社道奥 金婚亭	田　中　祥　子
		佐々木　みゆき
（一社）遠野市観光協会	（一社）遠野ふるさと公社	菊　池　眞貴子
（一社）一関市観光協会	東磐交通株式会社	伊　藤　昭　子
（一社）釜石観光物産協会	株式会社岩手旅行社	菊　池　録　郎

３　おもてなしの向上

(1)「おもてなしの心」向上研修事業

本県の「おもてなし」の向上を図るため、県内の観光事業者や観光関係団体の職員等を対象とした研修会を開催した。また、賛助会員が主催する県内各地域の接遇研修会に、本協会が認定した「いわて観光おもてなしマイスター」を講師として派遣する事業を行った。

ア　「おもてなしの心」向上研修会初級編

・実施日　令和元年６月 26 日（水）
・会　場　盛岡地域交流センター（マリオス）内いわて観光経済交流センター
・参加者　賛助会員の勤務経験２年未満の職員　19 名　　専務理事参加
・内　容　新人向けの接遇研修
　　講師　いわて観光おもてなしマイスター

イ　「おもてなしの心」向上研修会インバウンド編　［日本観光振興協会支援事業］

・実施日　令和元年９月４日（水）
・会　場　盛岡地域交流センター（マリオス）
・参加者　賛助会員、いわて観光おもてなしマイスター　40 名　　専務理事参加
・内　容　研修１「ラグビーワールドカップ 2019 岩手・釜石の情報、釜石の観光情報」
　　講師　岩手県ラグビーワールドカップ 2019 推進室
　　担当課長　髙橋　利典　氏
　　研修２「インバウンド観光のおもてなし」
　　講師　キャプラン㈱　派遣講師　大鳥　麻美　氏
　　〃　　派遣講師　平松　美由紀　氏

ウ　接遇研修会講師派遣事業　合計８回

実施日	実施団体	会　場	参加者
R１．６．11	滝沢市	ビッグルーフ滝沢	観光関係者 36 人
R１．６．14	ＮＰＯ法人　体験村･たのはたネットワーク	ホテル羅賀荘	観光関係者 15 人
R１．７．８	（一社）久慈市観光物産協会	道の駅くじ	観光関係者 15 人
R２．１．23	軽米町観光協会	軽米町防災センター	観光関係者 15 人
R２．１．29	（一社）岩泉町観光協会	岩泉町民会館	観光関係者 23 人
R２．２．18	一関市	一関市民センター	観光関係者 32 人
R２．２．26	（一社）しずくいし観光協会	雫石町観光物産センター	観光関係者 20 人
R２．２．27	㈱平泉観光レストセンター	平泉レストハウス	職員、ガイド 22 人

４　多様な顧客ニーズへの対応

(1)「いわてバリアフリー観光情報案内所」管理運営

協会内に「いわてバリアフリー観光情報案内所」を設置し、協会ホームページ「いわての旅」の「いわてバリアフリー観光情報案内所」ページで、車いすの貸出や車いす対応の客室の有無など県内宿泊施設等の対応状況の情報を発信し、電話などの問合せに対応した。

・相談件数　９件

また、一人ひとりが多様な人のことを思いやる「心のバリアフリー」について、観光関係者に広く周知するため、啓発用リーフレットを作成した。

・心のバリアフリーリーフレット（作成部数　５千部）

リーフレット（Ａ面）

リーフレット（Ｂ面）

(2)「観光の日」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦 2000 年に、県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となるよう５月 16 日を「いわて観光の日」と定めており、この日を記念して講演会を開催した。　理事長及び専務理事参加

・実施日　令和元年５月 16 日（木）

・会　場　ホテルメトロポリタン盛岡ＮＥＷ　ＷＩＮＧ

・出席者　54 名

・講　演　演題　最新観光マーケティングの潮流 - 旅行者の行動が激変する時代への対応 -

講師　株式会社　makes　代表取締役　観光マーケティング・コンサルタント

後藤　直哉氏

Ⅴ　関係団体等への支援と連携

1　関係団体への支援

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会の活動を推進するため、同協議会に対し負担金を拠出した。

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

いわてウインターリゾート協議会が行うスキー客等の冬季観光客の誘客活動を推進するため、同協議会に対し負担金を拠出した。

(3) 各種キャンペーン支援事業

ア　観光関係催事への参加、出展

県や関係機関等が実施する各種観光キャンペーンへの支援・協力を行ったほか、観光情報の発信などを目的とした観光イベント等に参加・出展し、観光ＰＲを行った。

≪主な対応状況≫

実施日	開催地	イベント名称等
H31.４.20～４.21	愛知県	第６回日本各地の名産・観光巡りフェア
H31.４.25	宮古市	ダイヤモンド・プリンセス宮古港入港歓迎
H31.４.27～４.28	東京都	日本橋高島屋　大いわて展
R１.９.７～９.８	北海道	はこだてグルメサーカス 2019
R１.９.24～９.25	釜石市	ラグビーワールドカップファンゾーン in 岩手・釜石
R１.10.26～10.27	大阪府	ツーリズム EXPO ジャパン 2019
R１.12.18～12.19	東京都	見て！食べて！体験しよう！組合まつり in TOKYO ～技と味の祭典！～2019
R２.２.20～２.22	東京都	令和元年度上野駅「いわて産直市」

イ　後援、共催

（一社）平泉観光協会が主催する「春の藤原まつり」など、44 のイベント等に対して後援・共催を行った。

(4) 魅力ある観光地づくり支援事業

地域の観光事業者が主体となった、地域資源を活用した特色のある優れた観光地づくりの取組に対して助成を行った。

支　援　先	事　業　内　容　等
一関・平泉バルーンフェスティバル実行委員会	熱気球を活用した観光地域づくり事業
陸中海岸魚彩王国実行委員会	沿岸広域ＰＲ事業
栗駒山麓会議	一関まつるべ雪遊び体験事業
栗駒焼石ほっとライド 2019 実行委員会	栗駒焼石ほっとライド 2019 サイクルイベント事業

２　関係団体等との連携

（1）（公社）日本観光振興協会への拠出金

（公社）日本観光振興協会の全国広域観光振興事業に対し拠出金を拠出した。

（2）（一社）東北観光推進機構事業

東北七県･民間団体等で構成する（一社）東北観光推進機構のオール東北による海外プロモーションや教育旅行の誘致活動などを通じて本県への観光客の誘客拡大を図るため、機構に対し負担金を拠出した。

（3）北東北三県観光立県推進協議会事業

北東北三県観光立県推進協議会が行う北東北広域観光マップの作成や合同での台湾教育関係者招請事業などを通じて本県への観光客の誘客拡大を図るため、協議会に対し負担金を拠出した。

（4）観光宣伝事業等負担

岩手県空港利用促進協議会等の観光関係団体等に対し負担金を拠出した。

Ⅵ　いわてふっこう割事業

１　いわてふっこう割事業（県受託事業）

令和元年台風第 19 号の影響により落ち込んだ観光需要を回復及び喚起するため、旅行業者等が行う宿泊料金等の割引に係る費用を助成するいわてふっこう割事業を実施した。

・対象事業者数　　94 件（災害救助法適用市町村　40 件、その他市町村　54 件）

・宿泊人泊数　9,438 人泊（災害救助法適用市町村 4,666 人泊、その他市町村 4,772 人泊）

※災害救助法適用市町村（14 市町村）

宮古市、大船渡市、久慈市、一関市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町

いわてふっこう割特設サイト（いわての旅ホームページ）

事業報告の附属明細書

公益財団法人岩手県観光協会の令和元年度事業報告において、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。